

会 議 録 (要 旨) (案)

会 議 名	令和6年度第2回武蔵村山市廃棄物減量等推進審議会
開 催 日 時	令和6年10月15日(火) 午後1時30分から午後3時15分まで
開 催 場 所	中部地区会館405会議室
出 席 者 及 び 欠 席 者	出席者：宮脇健太郎、川口渉、鈴木寿子、安部朋子、小野吉雄、堀田剛、内野正義、相模欽哉 欠席者：吉成かおる、田中紳二郎 事務局：ごみ対策課長、ごみ対策課減量推進係長、ごみ対策課減量推進係主事
議 題	1 第1章 計画改訂の趣旨について 2 第2章 廃棄物処理の現状について 3 第3章 計画策定の課題について 4 第4章 計画の基本理念等について 5 その他
結 論 (決定した方針、残された問題点、保留事項等を記載する。)	議題1について 第1章計画改訂の趣旨については、各委員の意見を反映し一部修正し、各委員に示すこととした。 議題2について 第2章 廃棄物処理の現状については、各委員の意見を反映し一部修正し、各委員に示すこととした。 議題3について 第3章 計画策定の課題については、各委員の意見を反映し、一部修正し、各委員に示すこととした 議題4について 第4章 計画の基本理念等については事務局案のとおりとした。
会 議 経 過 (主な意見等を原則として発言順に記載し、同一内容は一つにまとめる。) ●：委員 ○：事務局 △：事業者	1 報告 (1) 第1回武蔵村山市廃棄物減量等推進審議会会議録等の公表について ○ 既に各委員に内容の確認を受けた会議録等について市ホームページ等で公表することを説明 (2) 武蔵村山市一般廃棄物処理基本計画の改訂スケジュール等の変更について ○ 資料1に基づき説明し、第5章 現状のごみ処理事業を継続した場合のごみ・資源排出量、第6章 基本的な施策、第7章 計画の目標値と目標とするごみ・資源排出量について、人口推計が集計できていないため、第3回審議会で審議を行うこととした。 2 議題 (1) 第1章 計画改訂の趣旨について ○ 資料2に基づき説明 [主な意見等] ● 第1章の見出しについて、今回の改訂は新たな計画の策定という意味合いではなく、中間見直しなので、「改訂」とはせず、各項目において必要に応じて「改訂」とした方が良いのではないか。 各章においても、「改訂」の見出しについて検討を行っていただければと思う。 ○ 今後各章の内容を確認の上、見出しを「改訂」とするかを検討し、統一を図っていく。

- 第3章においても、見出しが「計画策定の課題」となっているので、合わせて検討し、統一を図っていただきたい。
 - 今後各章の内容を確認の上、見出しを「改訂」とするかを検討し、統一を図っていく。
- (2) 第2章 廃棄物処理の現状について
- 資料3と基づき説明
[主な意見等]
 - 塵芥収集運搬経費について、家庭ごみ有料化について前計画の会議ではどの程度増加するかまだ明確になっておらず、具体的には説明がなされなかったが、実績では概ね想定通りの増加となっているのか、どのように分析をしているのか。
 - 令和4年度及び令和5年度の市の決算ベースでは、概ね想定通りの増加となっている。
 - 指定収集袋の価格について、指定収集袋そのものの価格とその他経費を合わせたものと認識しているがよろしいか。
 - 指定収集袋の価格は、指定収集袋の製造・管理・配送委託、指定収集袋の販売等取扱手数料、塵芥収集運搬経費等を総合的に勘案して決定している。
 - 塵芥収集運搬経費の主な増加要因は、家庭ごみ有料化に伴う指定収集袋の製造・管理等にかかる経費となっているが、戸別収集に係る費用の方が多いと思われるがよろしいか。
 - その通りに修正する。
 - 図2-3について、合計の青色はどの様に示されているのか。
その他の図には合計は示されていないのか。
 - 図2-3の合計は棒グラフの外枠となっている。
線が細く見えにくいので、表示の方法を検討する。
 - グラフと表について、前計画と掲載方法が異なっている。
紙面の都合等もあると思うが、同じように掲載した方がよいのではないか。
 - 検討を行う。
 - 事業系一般廃棄物の持込手数料の「改訂」とあるが、こちらは「改定」が正しい。
 - その通りに修正する
 - リサイクル率のうちエコセメントを除くリサイクル率について、令和9年度の計画値がさがっているように見えるので、数値の確認を行っていただきたい。
 - 数値の確認を行うとともに、グラフの色をわかりやすく表示する。
- (3) 第3章 計画策定の課題について
- 資料4及び資料4-2に基づき説明
[主な意見等]
 - 評価についてほぼ「B」となっている。
評価の基準は市側から見てのものなのか。
 - 現状について市側の評価を行ったものであるため、各委員の意見をいただき反映させたい。
 - 全般的に評価の根拠がみられないが、数値等を用いて根拠をわかりやすくできないものか。
 - 前計画では数値目標は指標1から3までとなっており、施策については、数値を行っていない。
今回の改訂は中間見直しなので、次期計画の策定に向けての課題とさせていただきます。

- 他の計画では、項目ごとに実施状況及び目標を掲げて評価を行っているものもある。
本計画でも全てではないが、数値化できないものか。
- 繰り返しとなるが、前計画では数値目標は指標1から3までとなっており、施策については、数値を行っていない。
今回の改訂は中間見直しなので、次期計画の策定に向けての課題とさせていただきたい。
- 廃棄物減量等推進員による指導について、集合住宅における適正排出が徹底されておらず、カラスなどによる被害が多く見受けられる。
廃棄物減量等推進員による、解決に向けた指導等ができないものか。
- 廃棄物減量等推進員とは、いわゆるクリーンボラティアのことで、各自治会等から推薦されている方で、自治会内での清掃に関する啓発を行っていただくこととクリーン作戦等のイベントの際にごみの出し方について指導をしていただくことが主な役割になっている。
- 資源回収奨励金制度について、制度自体が市民に対してあまり周知されていないようであるが、どのような制度なのか。
- 市内の少年野球チーム等市に団体要録を行い、地域の資源物を収集して廃棄物処理事業者に持込み証明書をいただき、それを市に提出すると資源物の量に応じて奨励金が交付されるもので、金額はさほど多くはないが、団体の活動資金の足しになる。
子どもたちに資源回収の大切さ等を教えるために良い制度だと思う。
- 自治会では年に数回資源物を収集して市に報告を行い、活動資金に充てているが、それなりの量が集まる。
- 資源物1kg当たり8円の奨励金を交付する制度である。
- 団体を作るに当たり多くの人が集まるので、その際にこのような制度があることを周知すれば資源回収率の向上にもつながるのではないかと思う。
- 金額は多くなくても資源回収への意識付けにつながるので制度としては良いので、是非市民等に対して制度の周知を行い、制度を続けていただきたい。
- 地域特性に関する留意事項について、現状における課題についてまとめ、改めて第4章の計画の理念等に入れこむ予定なのか。
- 本計画は中間見直しなので、課題に対する大きな施策の変更等は予定していない。
- 新たな課題や引き続きの課題があるので、その課題に対する施策を打ち出す必要があるのではないかとと思われる。
- 課題に対する施策の取り扱いについて表現を検討する。
- 本計画は中間見直しではあるが、新しい課題と現状の課題の記載順序が異なるので、現状の課題から掲載した方がわかりやすいのではないか。
- 掲載順序等について検討する。
- 他部署の計画に基づく制度についても触れているようだが、どのように取り扱うのか説明を加えたほうが良いのではないか。
- 市の制度として触れておく必要があり、他部署の制度についても市民等に御案内をしていることから、掲載をした。

	<p>(4) 第4章 計画の基本理念等について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 資料5に基づき説明 [主な意見等] ● 事業系一般廃棄物の排出に当たっての記載について、家庭ごみ有料化及び戸別収集の実施等のきっかけも記載し、市民と同様の役割も担うとした方が良いのではないか。 ○ 検討する。 <p>(5) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 次回の審議会は、11月29日（金）午前10時から市民会館さくらホール会議室1・2で開催することとした。
--	---

<p>会議の公開・ 非公開の別</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 公開 傍聴者： 0 人</p> <p><input type="checkbox"/> 一部公開</p> <p><input type="checkbox"/> 非公開</p> <p>※ 一部公開又は非公開とした理由</p> <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; border-bottom: 1px solid black; height: 40px; margin-top: 5px;"></div>
-------------------------	--

<p>庶務担当課</p>	<p>環境部 ごみ対策課（内線：292）</p>
--------------	--------------------------